

J. Lolofik. pp. 241~246
 Analysis of Metallurgical Process of Tube
 Steel Production by Means of Mathematical
 Statistical Methods. *M. Knotek*. pp. 287~298

国内最近刊行誌参考記事目次

—学協会誌—

日本金属学会誌 22 (1958) No. 11

高マンガンオーステナイト鋼における炭化物析出に関する研究. 橋浦弘吉, 他...557~560

平線圧延に関する研究 (1) 平線圧延における巾拡りについて. 黒田正夫, 他...572~576

平線圧延に関する研究 (2) 材料の変形状態について 黒田正夫, 他...576~580

リン-タンゲステン酸法による鉄鋼中バナジウムの吸光光度定量. 北川 公, 他...580~583

18-8 不銹鋼とその熔接部のウラニル塩による腐蝕について. 篠田軍治, 他...592~596

鑄鉄のチル組織と共晶度および接種の関係. 大平五郎 他...596~600

鑄鉄の共晶集団発生におよぼす諸元素の影響. 井川克也...600~604

17-7-P.H不銹鋼の材料学的研究 (2) 0.7% Al を含む本鋼の硫酸および硝酸に対する耐蝕性について. 佐藤知雄, 他...604~608

熔接学会誌 22 (1958) No. 11

高強力鋼熔接変質部の冷却状況と顕微鏡組織および硬度 (4). 関口春次郎, 他...653~659

軟鋼の拘束熔接時に発生する母材割れに関する二, 三の実験. 守田貞義, 他...677~669

日本材料試験協会誌 7 (1958) No. 11

造塊時における鑄型壁内の温度変化について. 山下章 他...574~580

浸炭焼入れによる残留応力の時効および応力繰り返えしによる変化について. 平 修二, 他...591~599

炭素鋼における表面脱皮炭深さの非破壊測定に関する研究. 上田太郎, 他...600~605

高強力鋼のひずみ時効に関する研究 (その1, 切欠ぜい性におよぼす影響). 上田太郎, 他...609~612

高張力鋼のひずみ時効に関する研究 (その2, 疲労強さにおよぼす影響). 上田太郎, 他...618~624

— 7 (1958) No. 12

高周波焼入した圧入試片に関する簡単な疲労試験結果. 中村 宏, 他...647~650

高級鑄鉄管の疲労強度に関する研究. 小西一郎, 他...651~657

パーライト鑄鉄の振り疲労試験についての一考察. 財満鎮雄, 他...664~668

窯業協会誌 66 (1958) No. 12

ゼブラ天井に用いられた不焼クロマグ煉瓦の侵蝕機構. 尾山竹滋, 他...286~294

—研究機関誌—

東京大学航空研究所集所 1 (1958) No. 1

鍛造および押出加工に関する塑性力学的研究 (I)

工藤英明...37~96

ステンレス鋼板における低温焼鈍効果. 村川 契 109~115

東京大学航空研究所報告 24 (1958) No. 7

The Magnetic Properties and the Microstructure of High-C, High-Cr Magnet Steel.

Kyōji Tachikawa

水曜会誌 13 (1958) No. 8

鋼中の窒化ケイ素に関する研究 (I) 沢村 宏, 他 681~684

鑄研報告 No. 4 (1958).

Fe-Al 合金の高温における酸化皮膜熱処理の影響について. 中山忠行...23~27

吸光光度法による鉄鋼中の硫黄分の定量法 (II). 鹿島次郎, 他...43~46

—会社刊行誌—

富士製鉄技法 7 (1958) No. 4

高炉装入物の通気性について. 太田満喜雄, 他...359~365

塩基性平炉における全溶銑操業について. 前田正義, 他...366~372

リムド鋼の偏折および材質に対する研究 (I) 前田元三, 他...373~387

岩手粘土を主体とするシャモットレンガの研究 (II) 山内俊吉, 他...389~387

原料鉍石類主成分の測定品質管理について. 酒井 正 他...398~403

鉄鉍石中微量元素の分光分析法 (II) 川村和郎 405~411

日本鋼管技報 No. 13 (1958).

高炉の水蒸気吹込操業について. 長谷川友博, 他...189~195

製鉄工場における非破壊検査. 赤沢雄二...203~213 (以下 71 頁につづく)